

PIWU 中国

第 132 号

2024年 8月 20日発行

発行⇒ 郵政産業労働者ユニオン
中国地方本部

Tel&Fax⇒ 082-244-7719

piwu-chugoku@abelia.ocn.ne.jp

http://www.piwu-chugoku.net/



郵政産業労働者ユニオン中国



国民平和大行進集結集会

「平和の祭典」とも言われるオリンピックが閉幕しました。今もなお、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻やガザでの紛争など、世界の各地で平和とはほど遠い状況が続いています。
日本でも79年前の戦争では、ヒロシマ・ナガサキに原

79年目の夏―平和を祈り、核廃絶の決意新たに
ヒロシマ・ナガサキ
それぞれの「平和行動」



樋口中執のスピーチ

原爆投下から79年。郵政ユニオンは、創立以来「平和を守るための運動」に参加し、

また支部・地本が企画して集会等を開催しています。
5月に東京を出発した国民平和大行進が、8月4日広島に到着。平和公園噴水前で集結集会を行い、この日最後は「広島郵便局職員殉職の碑」に女性部が折った千羽鶴を献納しました。8月5日には、38年つづく平和のメッセ

子爆弾が投下され、美しい街が一瞬にして廃墟と化しました。熱さや痛みを感じる間もなく焼かれた者や生き延びても一生の苦しみを味あわされる人々が大勢いました。



広島郵便局職員殉職の碑



ピースサイクル到着集会



8・8 平和を考える長崎集会

ジャー「ピースサイクル」が広島に到着。今回は6名のサイクリストを原爆ドーム前に迎えた到着集会には約30名が参加。地元広島だけではな



追悼のダイイン (広島)



長崎市にピースメッセージを伝達

く関西、九州からも仲間がかけつけました。夕刻には市民集会「広島平和への集い2024」へ出席。この後、会場を移して中国地本主催「平和交流集会」で久しぶりの懇親会を開催。全国からの参加者も各々の活動を報告下さいました。そして、8月6日は早朝から「グラウンドゼロの集



平和交流集会 (中国地本主催)

い」、あの日と同じ8時15分に「追悼のダイイン」、その後「8・6広島デモ」、中電本社前の「脱原発座り込み」をもつて一連の平和行動を締めくくりました。

一方、長崎では8月8日、25回目を数える「8・8平和を考える長崎集会」が開催されました。名古屋学院大学教授の飯島滋明先生をお招きし、「平和な状態を維持するために必要なものは」をテーマに、私たちができる平和運動や平和を脅かす要因について講演いただきました。

翌8月9日朝は長崎朝鮮人犠牲者集会開催。長崎原爆



ピースウィーク市民集会 (長崎)

資料館へ移動し、「ピースサイクル全国ネット」からのメッセージ伝達式。午後からの「ピースウィーク市民集会」では、それぞれの活動報告と「市民宣言2024」を採択して散会しました。

今までにない核の脅威にさらされる混迷の世界情勢の中で、ヒロシマ・ナガサキそれ

ぞれの平和行動参加者は、平和を祈り、核廃絶の決意を新たにした夏でした。

79年前の8月6日のヒロシマ、8月9日のナガサキに想いを巡らせ、「平和とは何か」「核兵器とは何か」を各々が今一度考える機会にしたいと願っています。

「最低賃金学習会」開催

日時：8月31日(土)

15:00~16:00

会場：広島オフィスセンター

(広島市南区東荒神町3-35)